

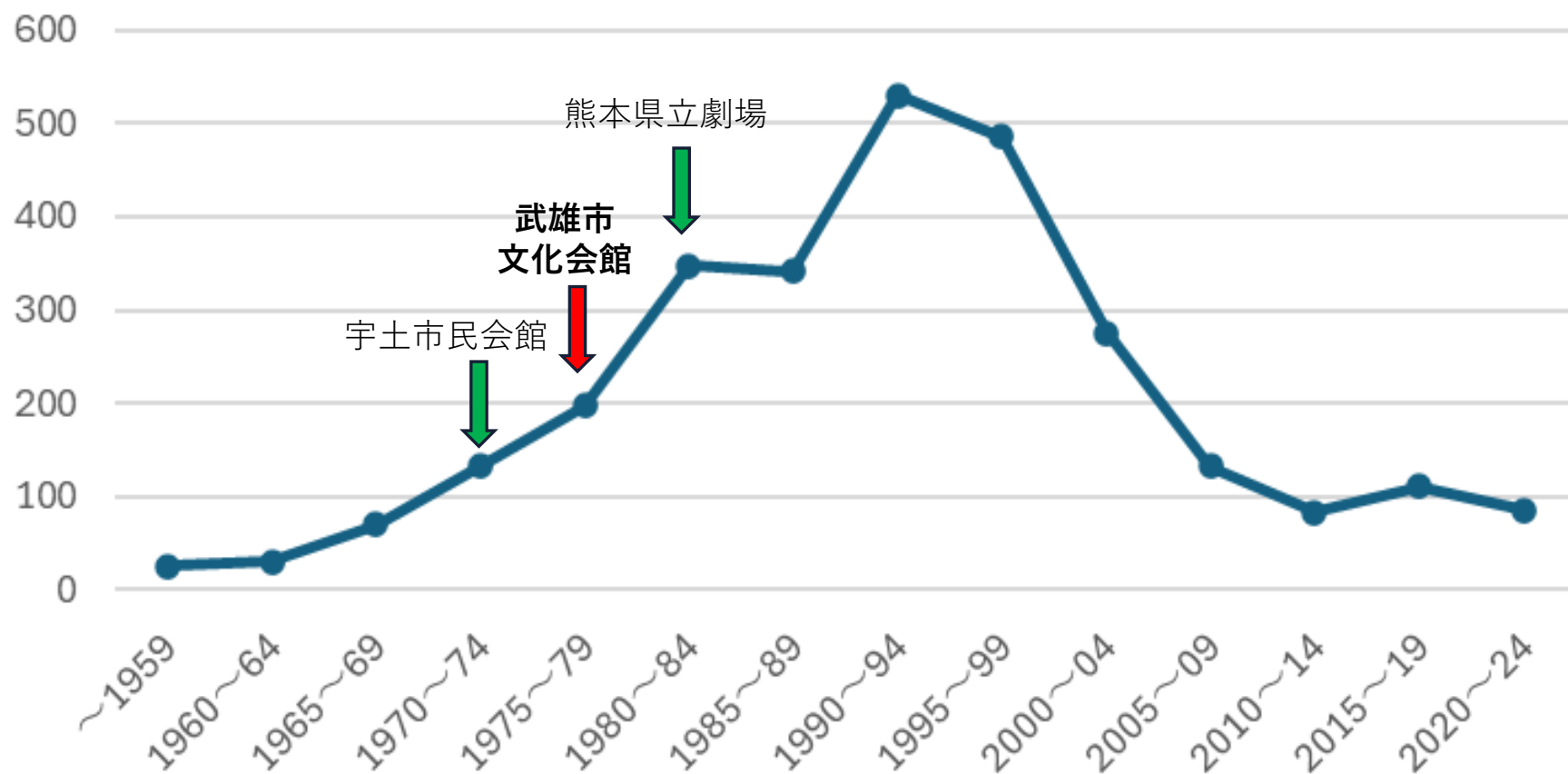


文化施設の抱える課題

ー老朽化したホール改修の難しさー

宇土市民会館 館長 本田恵介

年代別ホール開館数



出典：（一財）地域創造 「2024年度地域の公立文化施設実態調査」



ホールを改修する際の課題

武雄市文化会館が開館した当初（1975年）に比べ、施設に求められる安全性や快適性のレベルが大きく異なってきている

さらに近年の資材・人件費高騰で、改修費用も大幅に上がっている



建築基準法

- 特定天井（客席やロビー）の脱落対策

* 特定天井とは、6 m超の高さにある水平投影面積200 m²超、
単位面積質量2 kg/m²超の吊り天井で、人が日常利用する場所
に設置されているもの

- 階段寸法

蹴上（段差）18cm以下、踏面26cm以上等



障害者による文化芸術活動の推進に関する法律（平成30年）

障害者の個性と能力の発揮及び社会参加の促進を図ることが求められる

- 車椅子席、スロープのほか障害者や高齢者等のための手すり
- エレベーター、エスカレーター
- 多目的トイレ
- 親子室や授乳室



劇場設備等

- ・ 舞台・音響・照明のデジタル化、LED化に加え、
映像機材（プロジェクター）の設置
- ・ 空調・電気設備の機能向上



客席サイズ

日本人の体格向上に伴い、客席椅子の標準的なサイズも、50年前に比べ幅、前後間隔も大きくなり、同じ面積内に設置できる椅子の数も少なくせざるを得ない



改修とは・・・

たんに50年前の元の姿に戻すことではなく、現在の法律や基準をクリアし、将来を見据えて求められる劇場機能に沿った高機能で快適な施設にすること